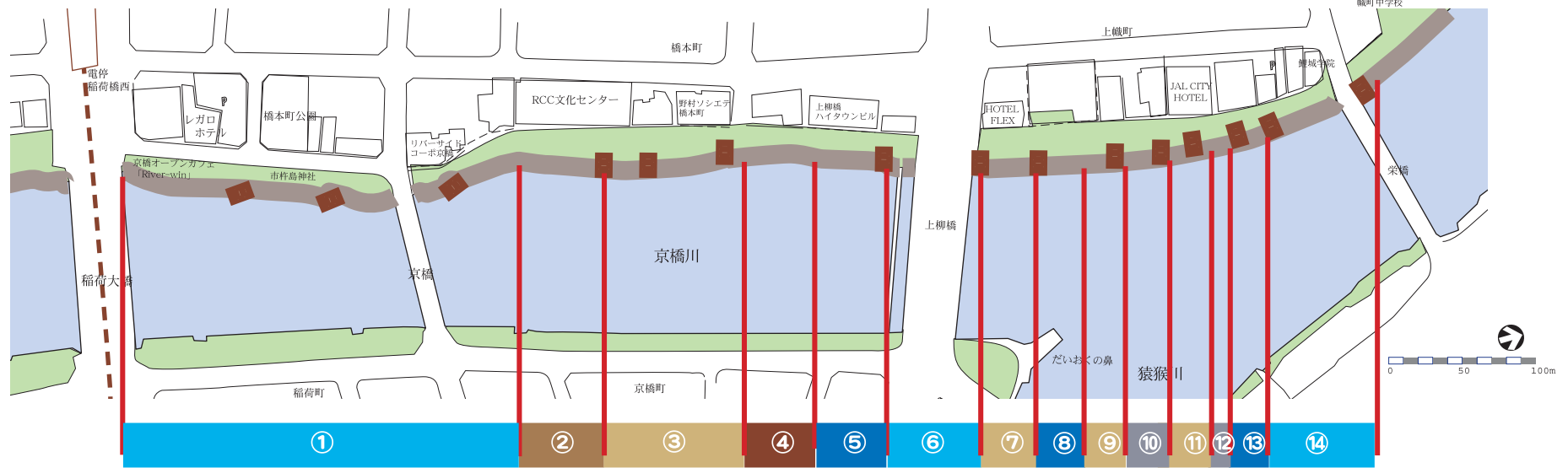


# 調査結果（観察の整理と分析）

## ■年代区分



## ■年代による石積み区間の特徴

2006.1.28調査による

区間	積み方	隙間	詰め物	石の形・大きさ	縁辺の加工程度	表面加工	色	焼痕	石積みの反り
④	布積・谷積	広い	なし（空積）	不均一	低い	あり	赤茶色	あり	あり
②	谷積	なし	モルタル当初	不均一	特に高い（切込接）	あり	灰色	なし	あり
③	谷積	ほとんどなし	モルタル後入れ	不均一	高い（切込接）	あり	灰色	あり	あり
⑨	谷積	ほとんどなし	なし（空積）	不均一	高い（切込接）	あり	灰色	なし	あり
⑪	布積・谷積	狭い	モルタル当初	不均一	高い（打込接）	あり	灰色	あり	あり
⑦	矢筈積に近い	狭い	なし（空積）	不均一	低い	あり	白けた赤茶色	なし	あり
⑩	谷積	広い	なし（空積）	不均一	低い	あり	白けた赤茶色	あり	あり
⑫	谷積	広い	なし（空積）	不均一	低い	あり	白けた赤茶色	なし	あり
⑧	谷積	狭い	モルタル後入れ	不均一	低い	あり	白けた赤茶色	なし	あり
⑤	谷積	広い	モルタル後入れ	不均一	低い	あり	白けた灰・赤茶色	あり	あり
⑬	谷積	広い	モルタル後入れ	不均一	低い	あり	白けた赤茶色	なし	なし
①	矢筈積	広い	モルタル当初	均一	低い	なし	灰色	なし	なし
⑥	矢筈積	広い	なし（空積）	均一	低い	なし	白けた灰・赤茶色	なし	なし
⑭	矢筈積	広い	なし（空積）	均一	低い	なし	なし	なし	なし

©Senko nozon

古い  
↓  
新しい

ある物に費やす時間と労力は時代が下るほど、低下する傾向がある。例えば、石の形・大きさが不均一な物から均一な物へと変化するの、規格化された材料を用いるようになったためであり、それを可能とする技術力が進歩したためでもある。その反面、組み合わせる石によってそれぞれの石を加工するといった技術が不要となり、技術力が低下し、またその手間が省略されるために石同士の隙間が広くなり、そこには以前は高価であったモルタルが大量に込められることになったのである。石の表面加工や石積みの反りがなくなっていくのも同じ理由である。

## ■区間別の代表的な石積み

